

miratap

LED ミラーボックス

ロイナ

組立設置説明書

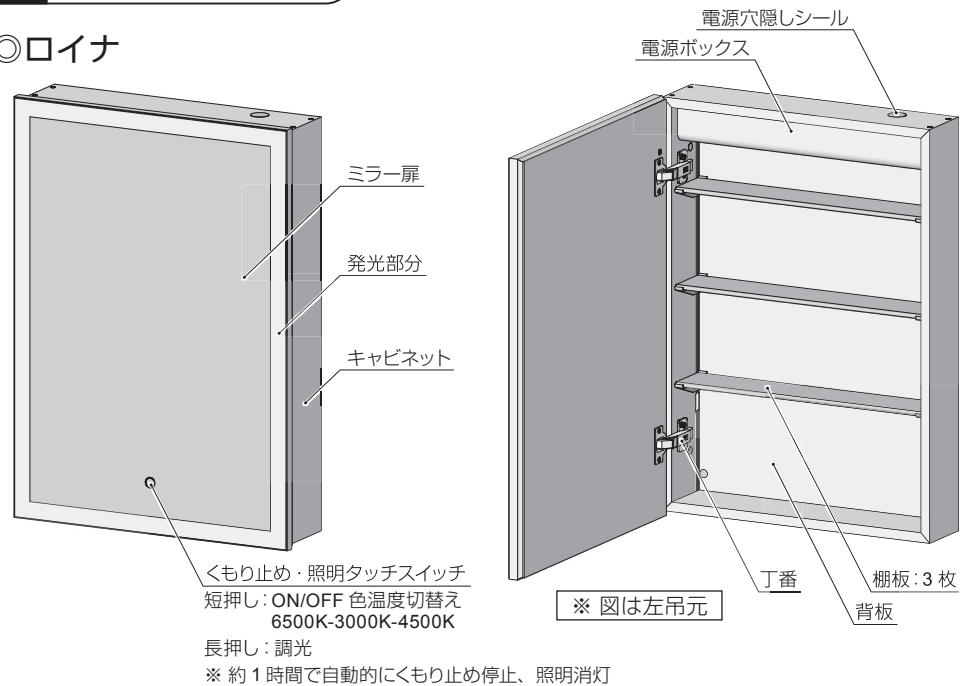
02-LNA01S-00

設置前に、この組立設置説明書と商品同梱の各説明書をよくお読みのうえ、正しく設置してください。

本体や機器に付属の取扱説明書は、設置完了後にお客様にお渡しください。

1 各部の名称

◎ロイナ



■ 付属品

品名	皿タッピングねじ φ4.2×50	穴あけ用治具	木ねじ4×40	ねじ隠しシール	なべねじM4×10
数量	2本	1個	4本	6枚	6本

■ 耐荷重

耐荷重については、下記の重量をお守りください。

- ・棚板1枚につき 1kg まで
- ・キャビネット全体 5kg まで

2 設置前の注意・確認

《設置前のご注意》

- 重量のある商品や荷姿の大きな商品があるため、受け取りの準備をお願い致します。また、商品の品質確保のため、搬入は必ず**2人以上**で手運びにて行ってください。※ 車上渡しとなります。
- 商品の搬入経路を確保してください。
- 商品を開梱して、外観に損傷がないことを確認してください。※ 設置後の損傷は保証対象外となります。

●安全上のご注意

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害、物損）に結びつくおそれがあります。必ずお守りください。

禁止 **実行** **注意**
お守りいただく内容を上の記号で区分し、説明しています。

警告

「死亡または重傷を負うおそれがある」内容

- 分解・改造はしないでください。思わぬ事故の原因になることがあります。
- 交流100V以外では使用しないでください。火災、感電の原因となります。
- 本体を設置する際は水平・垂直のレベルを出してから施工を行ってください。最終仕上りが悪くなり、安全性にも影響します。
- 建築工事・電気工事は、関連する法令・規定に従って、必ず「有資格者」が行ってください。火災・感電の原因になることがあります。
- キャビネットの設置は、建築壁の構造・下地を確かめて組立設置説明書どおり正しく行ってください。落下してケガをするおそれがあります。
- キャビネットや棚に乗ったりぶら下がったりしないでください。破損やケガをするおそれがあります。
- 直射日光やストーブ、ヒーターなどの熱を発生する物の近くに設置しないでください。変色や変形、火災をおこすおそれがあります。
- 壁埋め込みの場合キャビネットを取付ける壁内に、荷重に耐えられる下地があることを確認してください。強度が弱いと、キャビネットが落下し、ケガをするおそれがあります。
- 電気器具は防湿型ではありませんので、浴室内及び湿気の多い場所ではご使用できません。

注意

「傷害を負うことや物的損害が発生するおそれがある」内容

- 組立設置・調整時には必ず保護手袋を着用してください。ケガをするおそれがあります。
- 壁に不陸・ねじれ等がある場合は、必ず壁を施工しなおしてください。鏡が歪んで映ることがあります。
- 設置の仕上げに使用する溶剤・その他薬品類は各注意表示に従って正しくお使いください。誤った使い方をすると、人体に影響が出たり、使用部材の損傷や劣化の原因になることがあります。
- ものをつつけるなど、ミラーへ衝撃を与えないでください。破損やケガをするおそれがあります。
- 組立設置完了後は、がたつきやゆるみのないことを必ず確認してください。落下しケガをするおそれがあります。
- 扉が傾いたりガタついたときは、丁番のねじを締めなおしてください。破損やケガをするおそれがあります。
- ミラーに熱湯や冷水をかけないでください。急激な温度変化はミラーの破損の原因となりケガを負うおそれがあります。
- 可動棚は固定ねじで確実に固定してください。可動棚が落下し、ケガをするおそれがあります。
- 扉などにぶら下がったり、大きく開けすぎたりしないでください。破損やケガをするおそれがあります。

- 引渡し完了まで、養生材などで商品を養生してください。※ 養生テープは商品に直接貼らないでください。

- 壁埋め込みの場合は、壁材（石膏ボードなど）の施工後は設置できません。壁材施工前に設置してください。
- キャビネットは上下取付け向きがあります。

《設置前の確認》

設備位置が図面どおりか、以下の項目を確認してください。

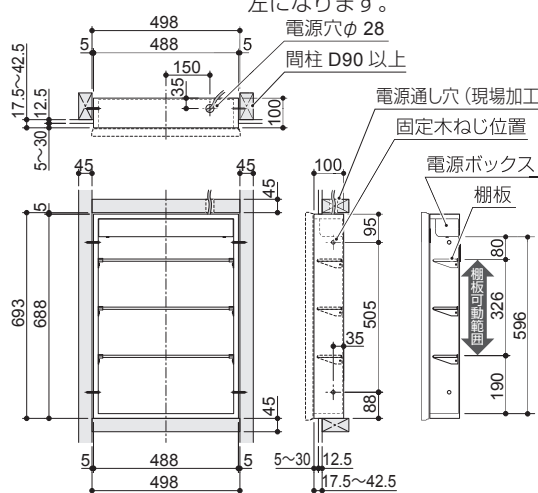
- 設置場所の間口寸法・床の水平・壁の垂直・コーナ一部直角度
※ 水平・垂直・角度などの精度が出ていないと仕上げが悪くなり、使用時の安全性にも影響します。
- 取付用下地の位置および寸法（桟木45mm×90mm以上の強度のある硬い木材または12mm以上の合板）
- 商品の搬入経路を確保してください。
- 電源（100V）の位置
※ コンセント及びスイッチは付属しておりません。



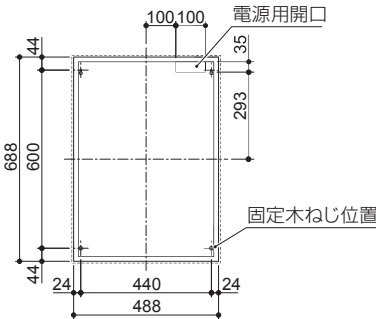
- 現物の寸法をご確認ください。
- キャビネットを取付ける取付用下地（桟木45mm×90mm以上または12mm以上の合板）が指定どおりに使用されていることを確認してから取付けてください。（取付用桟木に十分なねじ保持力がないと、使用中に落下し、ケガをするおそれがあります）
- 据付調整時には必ず保護手袋を着用してください。

- ミラーボックス総重量（kg）
11.0kg

《壁埋め込みの場合の収まり図》（※参考）
（図は左吊元の場合）※右吊元の場合は、電源穴が左になります。



《壁付けの場合の固定用ねじ穴位置》
（図は左吊元の場合）※右吊元の場合は、電源用開口が左になります。

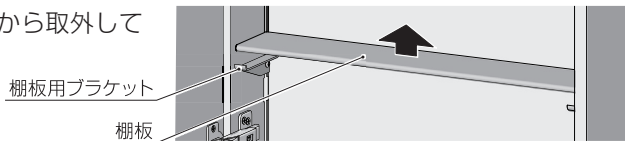


必ずキリなどで下穴を開けてから、ねじ固定してください。

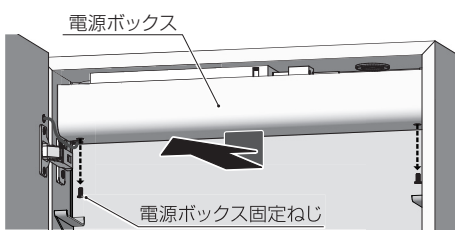
3 設置手順

1. ミラー扉・棚板の取外し

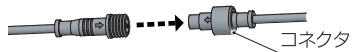
- ① 棚板を棚板用ブラケットから取外してください。



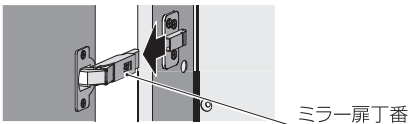
- ② 電源ボックスの固定ねじ2ヶ所を外し、電源ボックスを少し下に動かしてから、手前に引出して取外してください。
※ 固定ねじは紛失しないください。
※ 電源ボックスでキャビネットの側板が傷つかないようにご注意ください。



- ③ 電源コードのコネクタのキャップを回して外し、コネクタを引き抜いてください。



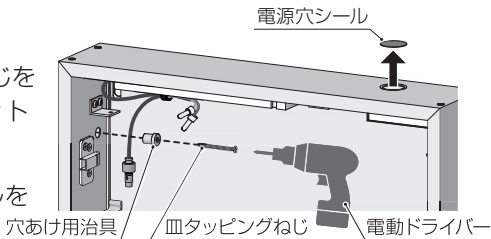
- ④ ミラー扉の丁番を取外してください。



2. キャビネットの設置

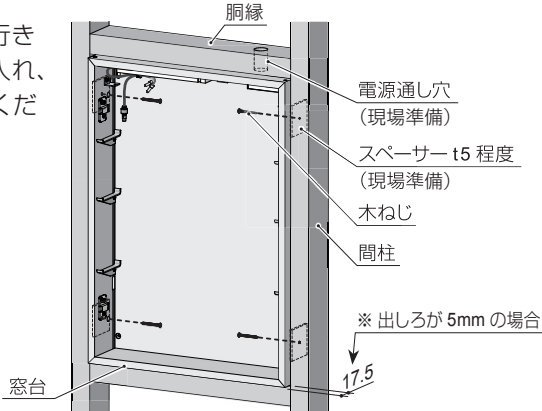
《壁埋め込みの場合》

- ① 付属の穴あけ用治具と皿タッピングねじを使って、電動ドライバーでキャビネットの側板に4ヶ所穴を開けてください。



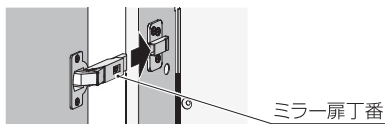
- ② キャビネット上部外側の電源穴シールを外してください。

- ③ キャビネットを窓台にのせ、奥行き方向の調整をしてスペーサーを入れ、付属の木ねじで4ヶ所固定してください。

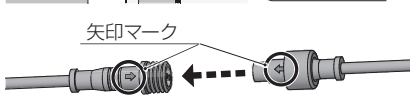


3. ミラー扉・棚板の取付け

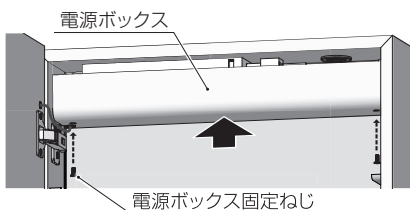
- ① 取外したミラー扉の丁番をキャビネットに取付けてください。



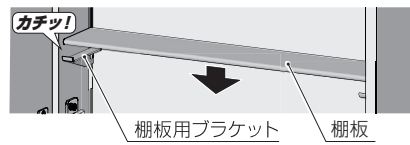
- ② 電源コードのコネクタ横の矢印マークを同じ位置に合わせ接続し、キャップを締めてください。



- ③ 電源ボックスに電源コードのプッシングを取付けた状態で、固定ねじでキャビネットに固定してください。
※ 電源ボックスでキャビネットの側板が傷つかないようにご注意ください。
※ 電源コードが電源ボックスにはさまると、断線のおそれがあるのでご注意ください。
※ プッシングを固定している結束バンドが動くと、プッシングがずれて断線の恐れがあるので、触らないようにご注意ください。



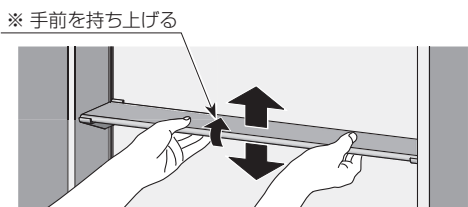
- ④ 棚板を棚板用ブラケットに取付けてください。
※ カチッとほまるまで固定してください。



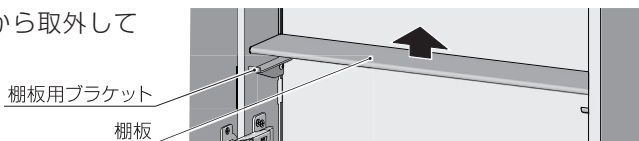
4 各部の調整

《棚板の高さ調整方法》

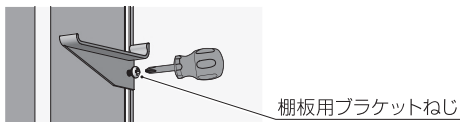
- ① 棚板の手前を両手で持ち上げ、水平に上下移動させ任意の高さに設置してください。
※ 棚板は水平になるように調整してください。
※ 棚板可動範囲は、2《壁埋め込みの場合の収まり図》参照



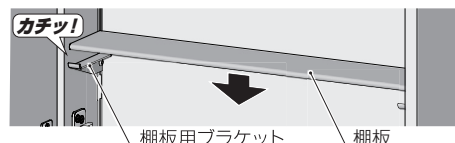
- ② 棚板を棚板用ブラケットから取外してください。



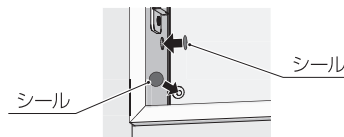
- ③ 棚板用ブラケットのねじを締め付けてください



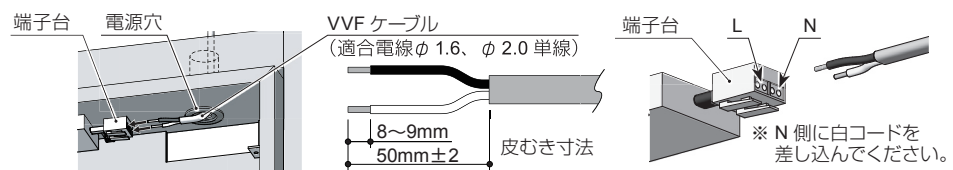
- ④ 棚板を棚板用ブラケットに取付けてください。
※ カチッとほまるまで固定してください。
※ 棚板の端部でキャビネットの側板が傷つかないようにご注意ください。



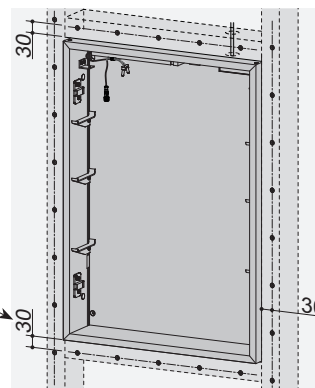
- ④ キャビネット内側の穴（背板上部以外）を付属のシールでふさいでください。



- ⑤ 上部の電源穴からVVFケーブルを中に入れ、端子台の穴にしっかり差し込んでください。
※ 配線工事は必ず、電気工事士の有資格者が行ってください。



- ⑥ 壁材（石膏ボードなど）の施工、仕上げ（クロス貼り/塗装）を行ってください。
※ 別途現場工事



《壁付けの場合》

- ① 取付位置の墨出しを行ってください。

※ 2《壁付けの場合の固定用ねじ穴位置》参照

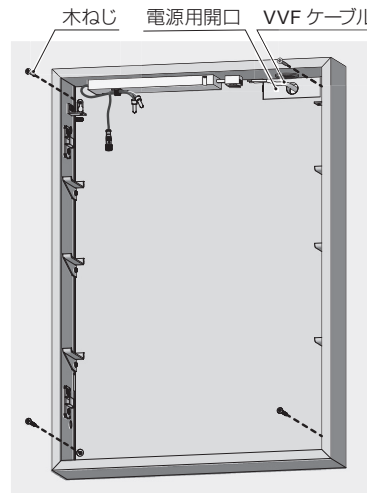
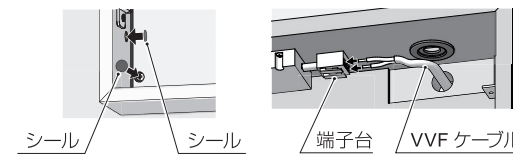
※ 電源用開口位置に、壁からVVFケーブルが出ていることを確認してください。

- ② キャビネットを付属の木ねじで4ヶ所固定してください。

※ VVFケーブルは背板の電源用開口から出してください。

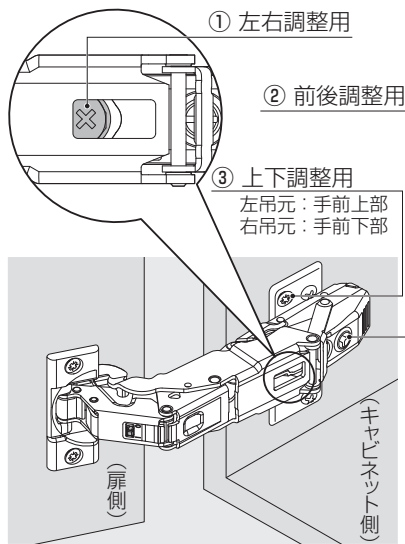
- ③ キャビネット内側の穴（背板上部以外）を付属のシールでふさいでください。

- ④ VVFケーブルを端子台の穴にしっかり差し込んでください。
※ 配線工事は必ず、電気工事士の有資格者が行ってください。



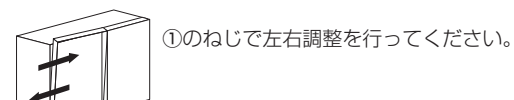
《扉丁番の調整》

微調整が必要な場合は、丁番のねじ①②③をまわして調整してください。

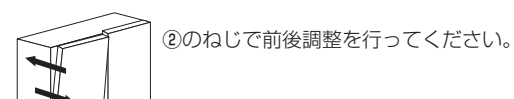


※ 図は左吊元の図です。

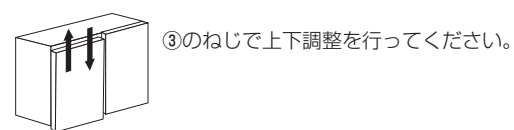
●左右調整（扉の目地をそろえる）



●前後調整（扉の前後の傾きを直す）



●上下調整（扉の上下の片寄りを直す）



○ ①②③以外のねじは緩めないでください。

5 設置後の調整・確認

設置完了後は、扉のがたつき・緩み・傾きがないことを確認してください。
調整が必要な場合は、「各部の調整」の要領で調整してください。

《設置後の確認》

●設置状況の再確認

- 扉や棚板が、確実に取付けられていることを確認してください。

●設置後のクリーニング

- 扉やボックスのホコリ・汚れは、柔らかい布で拭き取ってください。

miratap

株式会社 ミラタップ miratap inc.

●お客様相談センター 受付時間はホームページにて最新情報をご確認ください。

<https://www.miratap.co.jp>

TEL: 0120-468-838

FAX: 0120-382-096

